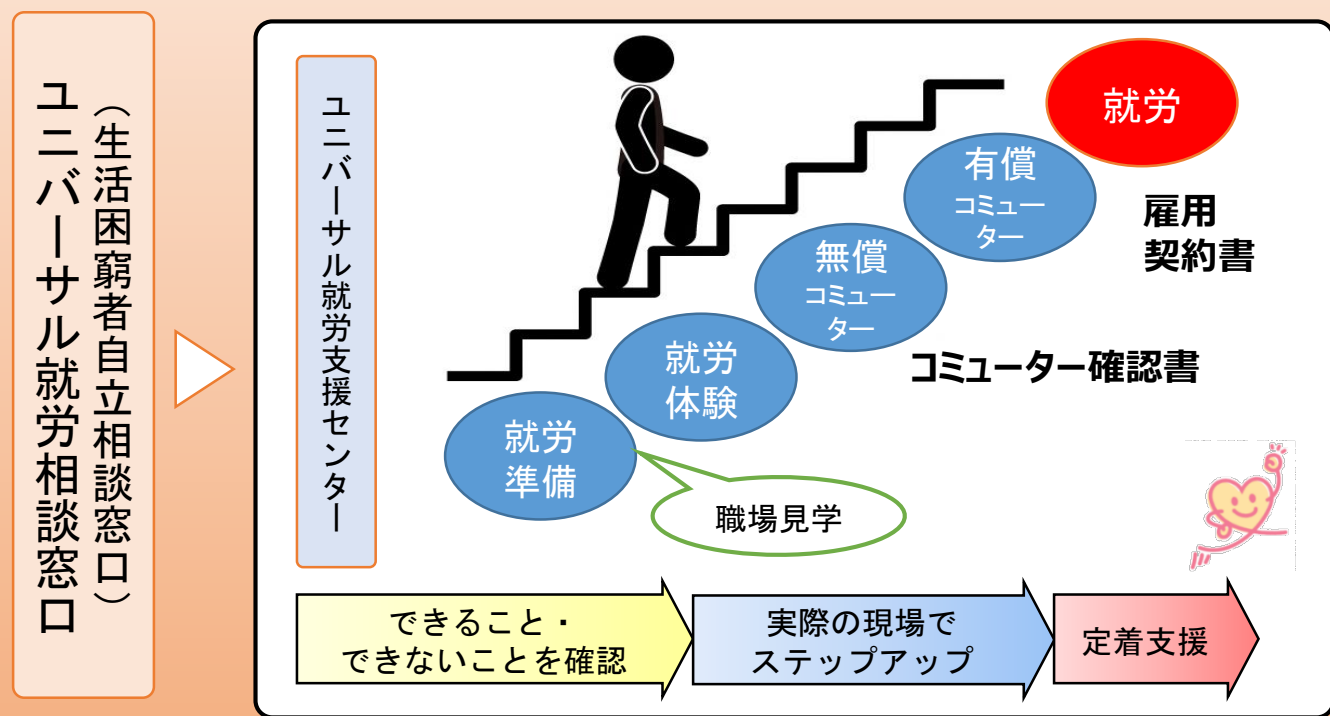


# ユニバーサル就労推進事業

## 経緯

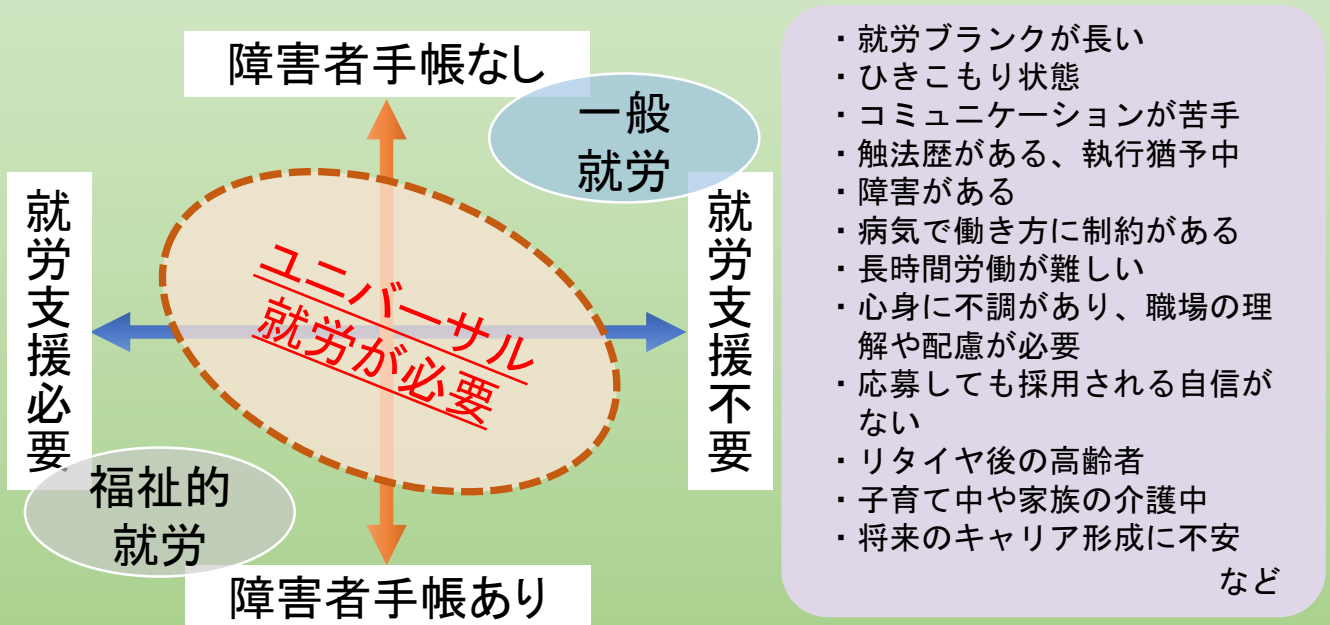
- ◆平成26年11月 市民の署名活動（1万9千人余り）  
障害者（児）が働くことに困らないように、障害者雇用に積極的な企業の誘致、支援を要望
- ◆平成27年2月 市議会「ユニバーサル就労推進議員連盟」設立  
議員定数36人中33人が参加
- ◆平成29年2月 「富士市ユニバーサル就労の推進に関する条例」の制定  
議員提案により、ユニバーサル就労の条例を可決するのは**全国初**
- ◆平成29年4月 「富士市ユニバーサル就労の推進に関する条例」の施行  
行政としてユニバーサル就労による就労支援を開始するのは**全国初**

## 支援の流れ



## 対象者

働きたいのに、働きづらさを抱えている全ての富士市民



## 実績（平成29年4月～令和元年9月）

就職者	協力企業	サポーター	推進協議会
<ul style="list-style-type: none"> <li>70名</li> <li>就職率53.4%</li> <li>20～40歳代が多い</li> <li>これまでは面接等だけで落とされていた可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>122社</li> <li>無償で就労体験に協力</li> <li>仕事・雇用の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>451人</li> <li>市民や企業が地域で見守り</li> <li>口コミで周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働局、商工会議所、就労相談窓口などと意見交換</li> </ul>

➤ 富士市では生産年齢人口（15～64歳）が減少している。  
 ➤ 有効求人倍率も上昇しており、企業も人手不足である。  
 ➤ これまで働くことができなかった方も、適切な就労支援と企業の配慮で、十分に働くことが可能である。  
 ➤ ユニバーサル就労を通し、持続可能な社会を構築していく。

